





BELOW WATER

OLIVER LUCANUS — Photo & Text

オリバー・ルカヌスが贈る水中世界 Vol.13

緑に染まる川

雨季のはじまりとともに、ブラジル、マトグロッソ州のスイアジーニョ川（シンゲー川の支流）の浅瀬では植物が生い茂る。

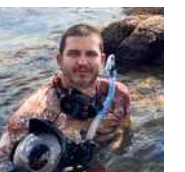
〔撮影地〕

ブラジル、マトグロッソ州、スイアジーニョ川

OLIVER LUCANUS

オリバー・ルカヌス (54)

ドイツ、バイエルン州生まれ。30年以上に渡り、世界中で魚の棲息環境を撮影し続けている。『Xingu Below Water』など写真集を発刊。カナダ、モントリオール在住。IEPA会員。



CREATOR WORKS

Daisuke Inoue

NATURE AQUARIUM W900 x D450 x H450 (mm)



©AQUA DESIGN AMANO

「ドラゴンズネスト」華やかな有茎草の凸型構図のネイチャーアクアリウム。化粧砂を手前に敷いたことで石垣でつくった植栽スペースが際立ち、石や流木の奥から見える華やかな有茎草が目を引く。中央に視線が誘導されるようにしたのは、「ソーラー RGB II」の広告用水景を想定していたからでもあった。



CREATOR WORKS

Daisuke Inoue
NATURE AQUARIUM W900 x D450 x H450 (mm)

植栽



2024年9月20日撮影

完成



2025年1月31日撮影

TITLE ドラゴズネスト

DATA

制作日 2024年9月20日
撮影日 2025年1月31日
制作 井上大輔 (ADA SUIKEI CREATOR)
水槽 キューブガーデン W900×D450×H450 (mm)
照明 ソーラーRGBⅡ ×1 (1日8時間30分点灯)
ろ過 スーパージェットフィルター ES-900 (パイオリオG)
素材 プランチ、山水石
底床 アクアソイル・アマゾン Ver.2、コロラドサンド
パワーサンド・アドバンスM、バクスター100、クリアスパー、トルマリンBC

CO2 バレングラス・ビートル 40φ、CO2ツイストカウンターで
1秒に5滴 (タワー使用)
AIR リリィパイプP-4によるエアレーション 夜間消灯時15時間30分
添加剤 ブライティK、グリーンブライティ・ミネラル、
グリーンブライティ・アイアン、グリーンブライティ・ニトロ
換水 1週間に1度 1/3
水質 水温25℃ pH:6.2 TH:50mg/L

水草 ❶ 佗比草 セイロンロータラ 65φ Wabi-Kusa Rotala rotundifolia 'Ceylon'
❷ 佗比草 ロータラ・ナンセアン 65φ Wabi-Kusa Rotala nanjean
❸ 佗比草 グリーンロータラ 65φ Wabi-Kusa Rotala rotundifolia 'Green'
❹ ポゴステモン・ダッセン※ Pogostemon sp. 'Dassen'
❺ ルドウィジア・グランデュローサ Ludwigia glandulosa
❻ ルドウィジア・レペンス Ludwigia repens
❼ ミリオフィラム・マトグロッセン※ Myriophyllum mattogrossense
❽ オレンジミリオフィラム Myriophyllum sp.
❾ ボルビティス・ヒュデロッティ※ Bolbitis heudelotii
❿ ウィローモス (モスバッグ) ※ Taxiphyllum barbieri

魚種 ラスボラ・エスベイ Trigonostigma espei
キンセンラスボラ Rasbora borapetensis
ドレープフィンバルブ Oreichthys crenuchoides
サイアミーズ・フライングフォックス Crossacheilus oblongus
オトシンクルス Otocinclus sp.
ヤマトヌマエビ Caridina multidentata

©AQUA DESIGN AMANO
※はADA生体製品ラインナップです。

SUIKEI CREATOR INTERVIEW

井上 大輔 Daisuke Inoue

形よりも、世界観をどう定めるかが大切

—— まずはこの水景の制作経緯やコンセプトを聞かせてください。

この水景はソーラー RGB IIの発売に合わせて、その広告用につくったものです。照明の演出効果を検証し、示すためにも、色とりどりの有茎草をたくさん使った水景がいいかなと思い制作しました。構図については凸型構図で、オーソドックスなレイアウトスタイルにしました。いわゆるネイチャーアクアリウムの基本となるような構成です。凸型構図にしたのは、ソーラー RGB IIの灯具がある中央に視点を誘導するという狙いもありましたし、その方が広告などで水槽システムを設置したビジュアルが面白いと思ったからです。

—— なるほど。では有茎草の選択は、どのような観点で選んだのでしょうか。

今回は照明器具の広告用の水景ということもあり、水草の赤から緑のカラーバリエーションが大切であり、いろいろな色彩の水草を選ぶ必要がありましたし、全体のカラートーンとしては明るく華やかな雰囲気を考えました。レイアウトの骨格となる流木に活着させたウィローモスやボルビティスは緑色でダークトーンなので、中央の植栽スペースには有茎草でできるだけ明るい印象をつくらうと思いました。最初は「佗び草セイロンロータラ」、「佗び草ロータランセアン」、「佗び草グリーンロータラ」を配置していたのですが、その生長する様子を観察していると、同じような細かい葉ばかりで単調過ぎる印象

を受けるようになりました。それではちょっと面白みもなく赤の色彩も足りないと思い、途中から佗び草の隙間にルドウィジアやミリオフィラムなど葉形や葉姿が異なる有茎草を加えました。そのようにして緑から赤までの色彩をそろえた感じがですね。

—— 水草がちょうどいい具合にグラデーションになって見えるのもそのためでしょうか。

先に言ったように佗び草の合間に追加植栽したときに有茎草の色彩やカラーグラデーションを意識しました。凸型の頂点付近には葉が大きく赤味の強いLud.グランデュローサやLud.レペンスを植栽したのもそのためです。またここでは追加する水草の葉形にも注意を払いました。細かな葉ばかりにしてしまうときれいにまとまるのですが整い過ぎてかえって不自然に見えることがありますし、逆に大きな葉ばかりだと大雑把過ぎる印象になりがちです。有茎草を多用するときは、

色彩だけではなくこうした葉の大きさ、形などの混栽バランスが大切になるわけですが、この水景ではボリューム感を出しつつ無造作で自然な感じになるように心がけました。

—— 構図制作で気をつけた点などがあれば教えてください。

中央の植栽スペースはソイルを敷くことになるとはありますが、そこは石を積み上げました。また構図素材として流木も使用していますが、石を積んだ後に流木を置いたのでは、その構成が限定されてしまうことが多いので、石を積み重ねつつ流木を組み込みようにしました。どちらかと言えば、流木を組み込んで、その隙間を埋めるような感覚で石を積んでいきました。そのため流木は構図を組んだ段階でしっかりと固定した状態になっています。また、こうした化粧砂とソイルを敷き分けるレイアウト構成だったので、ソイルが化粧砂スペースに流出しないように石の隙間をできる

だけつくらないように隙間には小石を丁寧に詰めています。構図自体はオーソドックスでも、こうした細かな造作にはこだわって制作しましたね。単純な構成に見えますがつくってみると案外難しい点も多いんです。水槽って横幅や高さに対して奥行きがないため、石を積み上げる際に、前後の幅と高さを考えて、化粧砂のスペースや植栽スペース、水草が生長したときの見え方、魚の遊泳スペースの確保など考えなければならないことが多く、このレイアウト構成の制作って地味に難しいですよ。しかも安定して石を積むとなるとなかなかのテクニックが必要で、ここではあと2段くらいは積めたかな(笑)

—— 使用している石は山水石ですね。

自分の中で、このような石を積み重ねるときに使う石と言えば山水石なんです。完全な個人的な思い込みですけど(笑)。自分がADAに入社したころに天野 尚前社長が制作していた凸型構図のレイアウトが、こういう雰囲気のものだったんです。そのときの石のイメージがずっと頭にある、このタイプのレイアウトでは自分的には山水石ですね。別に黄虎石でも龍王石でもいいと思うのですが、なんとなくイメージが違ってしまって……。そんな思いで制作したこともあってか、クラシックなネイチャーアクアリウムの雰囲気が出せていると思っています。

—— それは狙いであってここでは個性的な表現はあえて抑えているということでしょうか。

そうですね。普段は独創性やオリジナリティを重要視していますが、この水景はあくまでソーラー RGB IIのプロモーション用として

CREATOR WORKS

Daisuke Inoue
NATURE AQUARIUM W900 x D450 x H450 (mm)

できないんです。できそうだからつくりう、という考えでは、結局自分の頭の中で考えられる範囲の表現でしかなく、それでは新たな表現、創造をできないと思っています。

—— それは井上さんならではのレイアウト論ですね。

そんな大袈裟なものでもないですが、奇抜さや個性を出すという見た目の形ではないんです。形もしくは型の基本は忠実に守りつつ変化させる、という意味合いの言葉はよく聞きますが、それを流木の置き方とか形の話で捉えてしまうと、けっこう行き詰まってしまう気がするんですよね。「流木の角度をちょっと変えれば俺のオリジナル表現だ!」とはならないじゃないですか(笑)。形だけにこだわり続けると、ずっと悩み続けることになるかもしれません。しかし、今回の水景のようにオーソドックスだけど自分の中にブレない芯があり、「ADAらしさがあって、照明に照らされた有茎草が美しく見える」という確たるイメージあれば、形は水景を仕上げる上でのクオリティでしかないという割り切れるはずですよ。形で悩むことはクオリティのレベルで悩んでいるだけであって、自分の考えるレイアウトの本質とは少しズレていると思うんです。自分が大切にしているのはレイアウトの世界観であり、何か一つキーワードなり、イメージなりを決めてからレイアウト制作を行うと、世界観が備わった水景制作ができるような気がしています。ときどき、水景が完成したときにハマったなどという感覚を覚えることがあるんです。今はそんな水景制作をしたいと思っています。



ソイルを敷き分ける際、化粧砂スペースに流出しないよう石の隙間を小石で丁寧に積み重ねた。



中央の植栽スペースはできるだけ明るくするため、色や形にバリエーションが出るよう有茎草の佗び草を選んだ。

2024年9月20日撮影

MINI NATURE AQUARIUM #13

Mini NATURE AQUARIUM
MAINTENANCE GUIDE

DATA

撮影日 2025年3月19日
水槽 キューブガーデン W300×D180×H240 (mm)
照明 アクアスカイRGB ベーシック 300 (1日8時間30分点灯)
ろ過 スーパージェットフィルター ES-150 Ver.2 (ハイオリオ G)
素材 山水石
底床 アタソイル・アマゾンA Ver.2、パワーサンド・アドバンスS、バクター100、クリアスーパードルマリンBC
CO₂ バレングラス TYPE-3で2秒に1滴
AIR リリィパイプ・スピンP-1によるエアレーション 夜間消灯時15時間30分
添加剤 プライティK、グリーンブラיתי・ミネラル、グリーンブラיתי・アイアン、グリーンブラיתי・ニトロ
換水 1週間に1度 1/3
水質 水温25℃ pH: 6.8 TH: 50mg/L



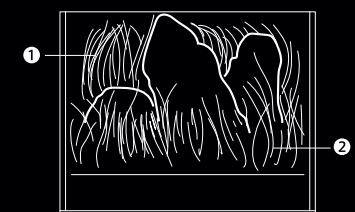
石組修行の場としてのW300mm水槽の愉しみ

ネイチャーアクアリウムの特徴的なレイアウトスタイルとして石組レイアウトがある。その昔、天野 尚が初めて独自のレイアウト表現として手応えを感じたのが石組レイアウトであり、生涯最後に制作した作品もまた石組レイアウトであった。すなわち「石組に始まり、石組に終わる」というのがネイチャーアクアリウム道と言ってもいいだろう。そして石組レイアウトの楽しさは、何といても配石にある。配石にはいくつかのルールがあり、実際にやってみると、石の角度や組み合わせなど、そこには深淵な世界が広がっていることに気づくだろう。しかしながら、コンテストへの出品作品以外で、石組レイアウトを日常的に楽しまれている方は意外と



合金製の脚部に刻印されたADAロゴが水槽システムの意匠性をさらに高めてくれる。

少ないのではないだろうか。W600mm水槽ならともかく、W900mm水槽以上に見合うサイズの石となると確保するだけでもなかなか大変である。また、石組レイアウトはシンプルな水草の植栽を施し、魚も単泳とすることが多いため、水景を觀賞するだけのニーズは満たせるが、いろいろな種類の水草や熱帯魚を育ててみたいというニーズはなかなか満たしにくい。確かに、大きな石には独特の風格があるため、大きな水槽で迫力のある石組レイアウトを楽しみたいところではあるが、そうもいかない方には、ここにご紹介するような小型水槽での石組レイアウトをオススメしたい。小型水槽であれば石の選択肢が豊富にあり、気軽に作り替えることもできるので、石組の研鑽を積む修行の場としてW300水槽を一つ用意するのも面白いのではないだろうか。そもそも石組には、「小の中に大をみる」という世界観があるのだから。



植物 ①ロング・ヘアグラス ②ショート・ヘアグラス※
生体 ナノストゥス・マジオータス
※はBIO みずくさの森のラインナップです。

CREATOR WORKS

Yusuke Homma

PALUDARIUM W600 x D300 x H450 (mm)

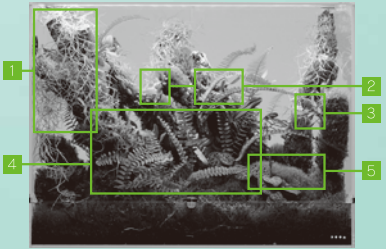


「蒼い森」

ここ数年パルダリウムのレイアウト素材として枝コルクを使用する機会が増えてきた。ホーンウッドやブランチウッドに比べ肌の凹凸に自然感がありそのまま見せてもよし、また凹凸の部分に苔やプレミアムモスを挟めることもできる。枝分かれしたものも多いが、棒のようなものも多く、余った棒状のものだけを集めて構図をつくらうとしてみたがなかなか難しかった。そのためしばらくして何も考えず立てかけた状態が作為がなく、とてもよく見え、今回はこれを構図とした。枝コルク同士の交わる部分にはランを配置し、ストレートの部分は直線的に見えないようにカモジゴケと一緒にタマシダを巻き付けた。枝コルクの切りっぱなしの部分はT.ウスネオイデスを掛けて目立たないように工夫した。棒状の枝コルクでも直線部分を植栽で工夫すれば見応えのあるレイアウトはつくることができる。

D A T A

撮影日	2025年1月16日
制作	本間 裕介 (ADA SUIKEI CREATOR)
水槽	ネオグラスパルダ 600
照明	パルダライト 600 (1日8時間点灯)
底床	ジャングルソイル、ジャングルベース、
給水	毎日朝夕の霧吹き(コケが乾燥気味なら多めに)、週2回の「佗び草ミスト」
排水	底床の半分を超えたら排水パーツから排水
湿度管理	ハンドスプレーで55%～65%に調整
時間管理	パワーコード S-70



MAIN PLANTS

- 1 チランジア・ウスネオイデス
- 2 エピゲニウム・ナカハラエ
- 3 ディネマ・ポリプルボン
- 4 ネフロレпис・コルディオフォリア
- 5 カモジゴケ

New Style Indoor Green

Style
13

DOOAで提案するガラスケースで主に熱帯植物の育成を楽しむスタイルをさまざまな作例とともに紹介。日々の生活の楽しみとして取り入れてみては。



DATA

CASE
NEO GLASS AIR W200×D200×H90 (mm)

PLANT
佗び草 有茎草MIX 90Ø

LIGHTING
マグネットライト G スリム 6段階中5〜6

SUBSTRATE
トロピカルリパーソイル

MATERIAL
ホーンウッド
KUMU ブラックラバストーン

この作例は佗び草を1個置いただけでも水辺の雰囲気を楽しめる好例で、暖くなるこれからの季節におすすめの楽しみ方と言える。流木や石をアレンジに加えると自然感がぐっと増し、その作業も面白い。なお、水上栽培では毎日のたっぷりの霧吹きと、虫の付着のチェックを欠かさないようにしたい。

※両作例とも撮影のため「ストリームポンプ ミニ」は取り外しています。

※近日発売予定の新製品「マグネットワイヤーアーム」で「マグネットライトG スリム」を設置しています。



DATA

CASE
NEO GLASS AIR W300×D180×H120 (mm)

PLANT
佗び草ロック ハイグロフィラ・ピンナティフィダ
ニューラージ・パールグラス(BIO)
コブラグラス・ブラジリエンス(BIO)
アラグアイア・レッドシャープリーフ・ハイグロ(BIO)

LIGHTING
マグネットライト G スリム 6段階中5〜6

SUBSTRATE
アクアソイル・アマゾン Ver.2

MATERIAL
KUMU ブラックラバストーン

活性性のあるハイグロフィラ・ピンナティフィダは、自生地でも石などに着生する様子が観察されるようだ。これはそんな水辺の光景をイメージした作例で、「佗び草ロック ハイグロフィラ・ピンナティフィダ」を2個配置し、その周りに水草を植栽しただけでも十分な見応えとなっている。

KUMU MAKING GUIDE

#12

「こだわりのレイアウトを楽しむための化粧素材「KUMU」。ここでは、それらを用いたレイアウトのつくり方や実用的なテクニックなどを、順を追ってわかりやすく解説します。」

HOW TO MAKE

01



KUMU
パフレイヤーストーン KUMU
ホーンウッドピース

パフレイヤーストーンとホーンウッドピースを組み合わせて土台をつくっていく。

02



ジャングルソイルを入れて安定させながら、さらに素材を積み上げていく。

03



KUMU
ホーンウッドチップ

ホーンウッドチップにテラテプを巻き、トキワシノブとヤマゴケを活着させた。

04



パフレイヤーストーンとホーンウッドチップが噛み合うように積み重ねていく。

05

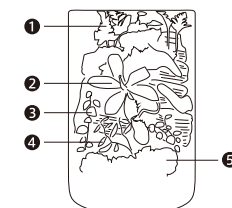


石の隙間にジャングルソイルを入れて、植物を植栽した。

06



素材を積み上げてMARU 130のフタ付近まで高さを出すと作品のレベルは高くなる。ただ難易度は上がるため、必要に応じて接着剤などで素材同士を固定してもよい。一体感を出すため、パフレイヤーストーンの模様の方を合わせて配置するのがポイント。



DATA
■ガラスポット MARU 130
■KUMU パフレイヤーストーン
■KUMU ホーンウッドピース
■KUMU ホーンウッドチップ
■植物
●トキワシノブ ●ネペンテス
'Mimi's Kiss' ●フィカス プミラ
ミニマ ●ツタsp. マウントベサー
ル ●セラギネラ・アボダ

IAPLC CREATOR'S FILE #23 Takashi Hosoda

世界トップレベルの水草レイアウトコンテストである「IAPLC」。このクリエイターズファイルでは、その上位入賞者にインタビューを行い、上達の秘訣や水草レイアウトに対するこだわりを紹介いたします。

細田 孝志さんのSNSアカウント



コンテストで上位を狙うのではなく 自分がやりたいことを 表現して楽しむことが一番

Q 出品作品の コンセプトをお聞かせください。

一つの根から2つに分かれて長い年月が経ち、老夫婦のように寄り添う夫婦木、というのは実は後付けで、実際はV型の大木のレイアウトは見たことないと思い制作しました。

Q レイアウトを制作していく過程で、 特に工夫した点はありますか？

ありきたりですが、小道を使って視覚効果的に奥行きを出すことと、メインビジュアルであるV字の大木をいかに自然にインパクト強く表現できるかを意識していました。

Q 植栽のポイントを 教えてください。

植栽に関しては特にポイントはありません。全体のバランスを見ながら、ほとんどの水草をインスピレーションで植栽していきました。

Q メンテナンスを行う際に 気をつけていたことはありますか？

換水中に寝てしまわないことです！ 本当に恐ろしいことになります(笑)。

Q V字の流木が印象的です。 モチーフとなった風景などはありますか？

私の場合、作品の構図などを考えるときは、実際の風景からイメージする場合と、頭に中でイメージする場合がありますが、今回は何かを見てインスピレーションが沸いたわけではありません。もしかしたら遠い昔にどこかで見た記憶からのイメージかもしれません。

Q 前回の順位と比較して、今回の6位受賞を どのように分析されていますか？

何が良かったとか、前回と評価の違いなどは正直、あまりわかりません。もちろんコンテスト



出品作品の構図制作時の様子。メインとなる中央の流木は滋賀県、琵琶湖産のもの。



「メオトギ」 Aquarium Size W1,200×D450×H450(mm)

水草：ニューパールグラス／ロタラ sp. グリーン／ミクロソラム・プテロプス／ミクロソラム・ナローリーフ／アマビナス・ナナ プチ／クリプトコリネ・ウェンティ／オーストラリアンドワフヒドロコティレ／ニューラージパールグラス／
プセファランドラ・コイン／南米ウィローモス／ボルビティス・ヒュデロツティ
魚 種：ラスボラ・ヘテロモルフ／オトティロブシス・ディアレウコス／
バジス・バジス／ヤマトヌメエビ

の上位を目指して毎回制作していますが、なかなか狙って上位に行けるものではないと思ってもあります。あまり順位に捉われず、自分がやりたいことを表現して楽しむのが一番だと思っています。

Q IAPLCに初めて参加した きっかけはありますか？

きっかけは、みなさんと違うかもしれませんが、もとより私は鉄道模型で情景をリアルにつくるのが好きでした。あるとき、水草レイアウトコンテストの存在を知り、タナカカツキさんの作品に心を打たれたのがきっかけです。しかしながら水草とはまったく無縁で、「育てる」ことについてはド素人でした。今でも素人に毛が生えた程度ではあるのですが(笑)。なので初めて参加したときは、

モルタルで洞窟をつくっていて、水草の育成なんてこれっぽっちも考えていませんでしたが、それを思い起こせば、成長したと思います。

Q 2017年から出品いただいておりますが、 継続の原動力は何でしょうか？

すばり、新しいレイアウトが浮かんだらすぐにもつくりたいという気持ちです。私は制作中が最高に幸せで、でき上がってしまうと次のアイデアを実際に制作したくて、うずうずしてきちゃいます。

Q 最近の水草レイアウトのトレンドについて、 お考えをお聞かせください。

難しいことはわかりませんが、今後も常に新しいアイデアが求められるのではないかと考えています。モルタル造形もありとか……。今後もいろいろと試していこうと考えてい

ます。レイアウトのトレンドではないですが、私はアクア仲間が大事だと感じています。コンテスト参加者同士の情報交換やアドバイス、常に上位におられるレイアウトの方たちの影響は大きいです。

Q 最後にあなたにとって IAPLCとは何か教えてください。

年齢を問わず、誰でも無償で参加できて、立派な表彰式もあり、素晴らしいコンテストだと感じています。この年になって表彰台に上られるなんて、思ってもいなかったことなので本当に幸せです。このように自分の作品を評価してくれる場があることに感謝しています。



水草レイアウトと鉄道模型のコラボレーション。



アワードセレモニーにて「ICA」のメンバーとの一枚。



撮影時の様子。制作を締めくくる大事な瞬間。

創造の人・天野 尚の軌跡。 文／阿部 正敏

超大判フィルムの世界

第9回 W4,000×D1,500×H1,500 mm水槽 (2009年撮影)
フジクローム・ベルビア100F (RVP F) 11×14 in

※このページではカラーリバーサルフィルムの色をできるだけ忠実に再現し、
実物の約70％の大きさに縮小した画像を掲載しています。

天野 尚と愛用の大判カメラ
1 8×20 in 2 8×10 in
3 11×14 in
4 4×5 in 5 5×7 in



超大判フィルムで超大型水槽を撮る

ネイチャーアクアリウムの創始者である天野 尚が亡くなって今年で10年となる。生前の天野が制作した水景のいくつかは現在も各地の水族館などで維持されているが、2001年に制作されたこの超大型水槽の水景は、それらの中でも特別な存在と言える。最晩年の2015年にポルトガルリスボン海洋水族館に全長40mの超巨大ネイチャーアクアリウムを制作し、これが名実ともに現存する世界最大のネイチャーアクアリウムとなっているが、2001年の時点ではこの水景が間違いなく世界最大のネイチャーアクアリウムだった。この超大型水槽は天野が自宅を新築する際に設置されたもので、家屋自体がこの水槽を中心に設計されているような印象を受けるほど圧倒的な存在感を放っている。この水景の制作にあたり、天野はそれまで培ってきたネイチャーアクアリウムのノウハウをすべて注ぎ込み、さらに水槽の自動換水システムや自然光も組み合わせた照明システムなどの新しいアイデアも導入した。レイアウトも水槽の中だけにおさまらず、アマゾン産の流木やヤマサキカズラが水上に大きく展開し、文字通り水槽の枠を超えた大迫力の水景となっている。当然、制作時の天野の熱量も相当なものであり、家屋の外に広がるネイチャービオトープの庭とあわせて、2001年時点での天野 尚の集大成と呼ぶのにふさわしいものであった。ちなみに、この水景は東京スカイツリータウン・すみだ水族館の自然水景 (4m水槽) の原型にもなっている。

それだけ気合いの入った水景であり、ネイチャーアクアリウムが掲げる長期維持を実証する目的もあったため、天野はこの水景を数年おきに何度も撮影している。当然、その撮影には超大判フィルムも使用された。なお、2003年にフジクローム・ベルビア100F (RVP F) が発売されて以降、天野は水景の撮影には基本的にこのフィルムを使用するようになった。ISO感度以外のベルビア100F (RVP F) と従来のベルビア (RVP) との違いは、粒状性がさらに向上してより高画質になったこと、超高彩度ながら派手さが抑えられてより忠実な発色になったことなどがある。天野はこのフィルムの発売前に富士フィルムからの依頼でテスト撮影も行っており、その時点でこのフィルムの性能に注目していたようだ。この水景は撮影方法も特殊だった。水上と水中で明るさが大きく異なるため、通常の撮影方法では水景全体を適正露出におさめることができないのである。そこで、水上と水中をそれぞれ別に撮影し、それを後で合成する方法が採用された。実はここでも、ベルビア100Fの特徴が生かされている。この水景は、水中はストロボ光で撮影されているが、水上は自然光と蛍光灯、メタルハイドランプのミックス光で撮影されている。従来のフィルムの場合、この条件では水上が緑かぶりしやすく、水中と合成した際に違和感があった。しかし、ベルビア100Fでは緑かぶりが改善されたため、違和感のない水上と水中の合成が可能になったのだ。

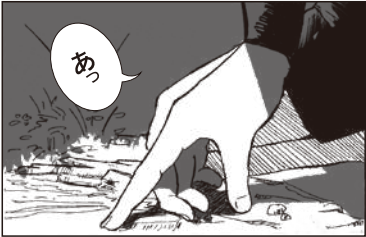


この水景の撮影手順

まず、水槽の前面を黒画用紙で覆って、水中部分を完全に隠す。この状態で水上部分が適正露出になるように絞りとシャッタースピードを設定して撮影を行う。次に、カメラをその場に固定したまま水槽前面の黒画用紙を剥がし、逆に水槽の周りを黒く覆う。これはストロボの強い光が前方に漏れないようにする意味と、光が水槽全体に回るようにする意味がある。なお、水上のヤマサキカズラがストロボの光を逃してしまうため、メンテナンスを兼ねて直前に葉をすべてカットしている。そのため、水上、水中の順番で撮影する必要がある。ストロボ光で撮影した水中部分は独立した水景写真としても成立しているが、先に撮影した水上部分と合成することで完全な一枚となる。

水草道!

自然に触れる

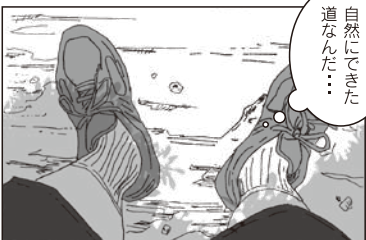


あ



この道、コンクリートじゃなく

生き物が歩いたところが掘られて岩盤が露出して…



自然にできた道なんだ…



この表現、水草レイアウトに、使えそう!

Illustration / Hayase Kato

STAFF CREDIT

Publisher
天野 しのぶ

Art Direction
丸山 悟司

Design
市川 亮 / 高遠 将史
板橋 広夢

Editor
本間 裕介 / 松本 隆介 / 加藤 颯世

Supervisor
大岩 剛

Photo Supervisor
阿部 正敏

Published by
株式会社 アクアデザインアマノ
https://www.adana.co.jp

Printed by
株式会社山田写真製版所



NEXT AQUA JOURNAL

JUN. 2025 vol.356
2025年5月10日 (土) 発売予定



アクアジャーナルの情報は一部、ADAホームページで公開しています。
AQUA DESIGN AMANO CO.,LTD.
©2025 Printed in JAPAN



REPORT

Photo & Text / Hayase Kato

PLANTS PORTRAIT

Photo & Text / Rysuke Matsumoto

日々植物の育成に勤しむ松本 隆介の視点で、毎月ひとつ植物を紹介します。



Platystele apoloae

本号が発売されるころには、このプラティステレ・アポロアエも新生体製品として市場に登場していることでしょう。3mmにも満たない小さな花は目を凝らさなければ気づかないほどの。小型の植物は子供の世話に手間がかかるのと同じように、注意を払って育てる必要があります。組織培養で育てられた株は、パルダリウムへ移行する際、株元を清潔に保ちつつ、肥料を適切に施してください。環境に慣れるまではやや気難しい面がありますが、一度適応すれば、力強く生長し、私たちを楽しませてくれます。



ADALABでは、さまざまな植物が常に店頭を彩っています。サトイモ科の植物や食虫植物、着生ランなどインドアグリーンにおすすめの種類を豊富に取りそろえ、まるで毎日が植物イベントのよう。また日々、植物たちは少しずつ入れ替わり、店頭の景色も変化していきます。ふと「雰囲気が変わったな」と感じるの、は、店先の植物たちがそっと移ろいを教えてくれているのかもしれない。だからこそ訪れるたびに小さな発見があります。

INFORMATION

MAGNET LIGHT WIRE ARM

NEW マグネットライトワイヤーアーム

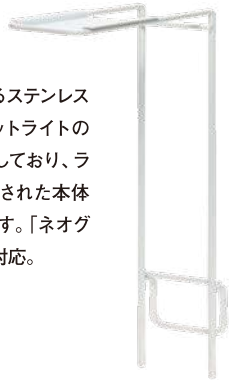


「マグネットライトワイヤーアーム」は、磁性のあるステンレス材を使用することで錆びにくく、簡単にマグネットライトの取付が可能です。塗装はマットホワイトを採用しており、ライトとスタンドの一体感が生まれ、線材で構成された本体は、オープンスタイルのレイアウトにも馴染みます。「ネオガラス エア」各サイズ、5mmのガラス厚の水槽に対応。

近日発売予定

価格：¥4,620 (税込)

※「マグネットライト G スリム」は別売です。



LIGHT STAND Z

ON SALE ライトスタンド Z

「マグネットライト G スリム」用のライトスタンドが新たに登場。高さを変更できるZ型のライト取付パーツにより、「CELL」をはじめとする各種ガラスポットに合わせて自在に高さ調節が行えます。シンプルで機能的なデザインが、新たなインドアグリーンのスタイルを提案します。

- スタンドの高さ：360mm
- 専用メタルベース直径：174mm
- 価格：¥22,000 (税込)
- ※「マグネットライト G スリム」は別売です。



「ADA LAB TOKYO」が
2025.4.20 SUN
大丸東京店 10Fに
リニューアルオープン

ADAのブランド体験ストアADA LABの旗艦店となる「ADA LAB TOKYO」。ネイチャーアクアリウム、パルダリウムの水槽システムの展示と、専門スタッフの知識と接客によってADAならではの感動体験を提供いたします。

NATURE AQUARIUM
PALUDARIUM



Aqua Design
Amano
Laboratory

TOKYO

AQUA DESIGN AMANO

AQUA DESIGN AMANO



From Creation to Legacy

その創造が歴史をつくる

IAPLC 2025

オンライン応募受付中!

Application period

2025.4.1 TUE — 5.31 SAT

グランプリ賞金 100万円 出品料無料

IAPLC2025 作品応募の流れ

IAPLCへご応募いただく前に、応募規定をよくお読みいただき、同意の上でご応募ください。

1 www.iaplc.comへアクセス (PC、スマートフォン、タブレット)

2 メールアドレス認証 自動返信メールよりオンライン応募。

3 応募情報の入力 レイアウト作品の画像データ (JPG 形式、5MB 以内)

4 入力内容の確認 入力された情報に間違いがないか確認いただきます。

5 応募手続き終了 登録されたメールアドレスへ応募完了のご連絡をいたします。

結果発表

2025.08.30  **ライブ配信!!**

Check! 01 IAPLC サポートショップ

全国のIAPLCサポートショップは、あなたの挑戦を全力でサポートします! スタッフと一緒にIAPLC2025への参加を目指しませんか? 詳しくはこちら 

Check! 02 動画でご案内します

IAPLCのスケジュールから水景の撮影方法、応募方法など詳しく動画でご紹介します。IAPLC公式ホームページと合わせてぜひご覧ください。詳しくはこちら 

www.iaplc.com



ADA
aqua design amano